

【回答用紙】2012年守谷市議会議員立候補予定者へのエネルギー政策に関するアンケート

フリガナ タカギ カズシ		
お名前 高木 和志	年齢 61才	現職 新人 (どちらかに○)
所属会派 (現職のみ) 公明党	所属政党 公明党	
ホームページ (お持ちであれば) : http://www.komei.or.jp/km/kt/		

1 エネルギーに関する基本的な考え方 (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 今後も既存の化石燃料・原子力を基軸とし、省エネと技術革新に期待する
- 基軸は既存のエネルギー源とすべきだが、原子力だけは減らしていくべき
- 自然エネルギーへの転換を早急かつ段階的に図るべきである
- 自然エネルギー推進には反対しないが課題が多く将来的な技術であり過剰な期待は禁物である
- 重要な課題だがまずは国が主導すべき課題につき自らの考えを明示する必要はない
- 該当なし

2 エネルギーに関する基本的な考え方 (自由記述。300字程度)

<p>原子力発電を過渡的なエネルギーと位置づけています。</p> <p>原発への過度な依存を早期に脱却し、再生可能な自然エネルギーに移行する政策が必要。</p>
--

3 日本の核燃料サイクルについて (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 核燃料サイクル計画は既に破綻しており、撤退すべき
- 万難を排し、技術開発により核燃料サイクルを実施していくべき
- 将来的な原子力技術の展望に期待し、現状の核燃料サイクル自体に打開策がなくても継続すべき
- 該当なし

4 ピークオイル問題について (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- よく知っているし、対策も考えてきた
- 聞いたことはあるが具体的な対処はしていない
- 初めて目にした
- 内容は理解しているが対処する必要なし
- 該当なし

5 東海第2原子力発電所の再稼働について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 絶対反対であり市議会で稼働反対の意見書を採択すべき
- 安全対策を徹底した上で判断すべき
- 安全対策を前提に、急ぐ必要はないが再稼働すべき
- 該当なし

6 今後、守谷市にて推進すべきエネルギー関連施策としてどのようなものをお考えでしょうか。（自由記述。300字程度）

施策：

現時点においては、太陽光発電が良いと考えるが、その他のバイオマス発電や小水力発電等も併用して検討すべし。

同時に省エネ対策を積極的に推進すべしと考える。

7 エネルギー政策で参考にすべき国内外の自治体があれば挙げてください。（3箇所まで）

①自治体名：山梨県都留市

理由：

新エネルギー百選にも選ばれた小水力発電所で、発電される電力は市役所で使われている。（18%がまかなわれ、年間170万円の節約）

水車は、市のシンボルとして愛されている。

②自治体名：長野県飯田市

理由：

飯田市には地球温暖化対策課があり、環境モデル都市として、市民ファンドを活用して「太陽光市民共同発電事業」を展開している。

「自転車市民共同利用システム」で電動自転車の利用推進、デマンドタクシー導入などの取り組みが進んでいる。

③自治体名：

理由：

8 原発の海外への輸出について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 賛成
- 反対
- どちらとも言えない

以上、ご協力ありがとうございました。